

2020年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年10月11日

上場会社名 株式会社マックハウス 上場取引所 東
 コード番号 7603 URL <https://www.mac-house.co.jp>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）北原 久巳
 問合せ先責任者（役職名）取締役経営企画室長兼法務室長（氏名）有賀 憲（TEL）03-3316-1911
 四半期報告書提出予定日 2019年10月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）
 （百万円未満切捨て）

1. 2020年2月期第2四半期の業績（2019年3月1日～2019年8月31日）
（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第2四半期	13,364	△2.5	△535	—	△501	—	△792	—
2019年2月期第2四半期	13,707	△9.6	△202	—	△143	—	△785	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第2四半期	△51.47	—
2019年2月期第2四半期	△51.24	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第2四半期	16,749	9,466	56.4
2019年2月期	18,950	10,414	54.7

（参考）自己資本 2020年2月期第2四半期 9,447百万円 2019年2月期 10,362百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2020年2月期	—	0.00	—	—	—
2020年2月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年2月期の業績予想（2019年3月1日～2020年2月29日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,800	△4.3	△864	—	△833	—	△1,412	—	△91.66

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年2月期2Q	15,597,638株	2019年2月期	15,597,638株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年2月期2Q	192,394株	2019年2月期	260,834株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年2月期2Q	15,405,247株	2019年2月期2Q	15,336,830株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因によって、異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(未適用の会計基準等)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8
3. 「参考資料」	9
商品別売上高の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2019年3月1日～2019年8月31日)における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、緩やかな回復基調にあるものの、通商問題を巡る緊張の増大が世界経済に与える影響が懸念されるなど、先行きは不透明な状況で推移しました。

一方で中・低価格帯のカジュアルウェア市場におきましては、食料品や日用品の値上などにより、消費者の生活防衛意識は依然として高く、経営環境は厳しい状況で推移しております。

かかる状況におきまして、当社は、「多くのお客様に信頼され、魅力あるお店」作りをスローガンに、企業風土・企業文化の再構築、商品改革、店舗運営改革、店舗開発の方向転換の4つの改革に取り組んでまいりました。店舗運営改革においては、お客様と向き合うために、店舗作業の削減と効率化を図るとともに、安売りに頼ることなく、お客様に商品の魅力・価値をしっかりと伝える取り組みを行っております。商品改革については、低価格商品に偏りすぎないように、クオリティを向上させ、ターゲット・グレード・テイストの統一を図るべく、取扱カテゴリの見直し、品目数の絞込みを行っております。店舗開発の方向転換については、新規業態開発の準備を進めるとともに、改装による既存店の底上げを図っております。これらの改革は、まだ緒についたばかりですが、引き続き全社で取り組んでまいります。

当第2四半期累計期間における売上概況としては、創業30周年企画、モバイル会員様向け特典などの販促施策がお客様に支持され、客数が増加しました。一方で、長梅雨による夏物商品の販売時期のずれに伴う値下げ販売、滞留在庫の処分等により客単価が低下しました。商品動向としては、ナショナルブランドの比率を高めたカットソー、トレンドのアンクルパンツ、ワイドパンツなどのトラウザー・イージーが堅調に推移しました。これらの結果、既存店売上高は、前年同四半期比0.4%減、既存店客数は5.7%増、既存店客単価は5.7%減となりました。

また、当第2四半期累計期間末の店舗数は、3店舗の出店、20店舗の閉鎖により、381店舗(前年同四半期比32店舗減)となりました。

利益面につきましては、商品改革に伴い、滞留在庫の早期処分に加え、新たな滞留在庫を残さないよう適切な値下げにより積極的な売り切りを進めた結果、売上総利益率は前年を下回りました。

経費面におきましては、店舗数の減少に加え、販売費を中心にコントロールしたことにより、販売費及び一般管理費は前年同四半期比7.7%減となりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間における売上高は13,364百万円(前年同四半期比2.5%減)となりました。また、営業損失は535百万円(前年同四半期は営業損失202百万円)、経常損失は501百万円(前年同四半期は経常損失143百万円)、四半期純損失は792百万円(前年同四半期は四半期純損失785百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ2,200百万円減少し、16,749百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ1,788百万円減少し、11,883百万円となりました。これは主に商品が1,442百万円、現金及び預金が734百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ412百万円減少し、4,866百万円となりました。これは主に敷金及び保証金が226百万円、建物附属設備が104百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ1,252百万円減少し、7,282百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ1,192百万円減少し、4,496百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が806百万円、電子記録債務が472百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ59百万円減少し、2,786百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ947百万円減少し、9,466百万円となりました。

これは主に、四半期純損失を792百万円、剰余金の配当153百万円を行ったこと等によるものであり、総資産に占める自己資本比率は56.4%となり前事業年度末に比べ1.7ポイント増となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年4月12日付、「2019年2月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2019年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,203	5,468
売掛金	368	832
商品	6,661	5,218
前払費用	258	257
その他	181	106
流動資産合計	13,672	11,883
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	89	74
建物附属設備(純額)	1,017	912
構築物(純額)	9	5
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品(純額)	115	122
リース資産(純額)	196	165
土地	194	194
その他	1	1
有形固定資産合計	1,624	1,476
無形固定資産	168	155
投資その他の資産		
長期前払費用	106	91
敷金及び保証金	3,369	3,143
その他	13	3
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	3,485	3,234
固定資産合計	5,278	4,866
資産合計	18,950	16,749

(単位:百万円)

	前事業年度 (2019年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2019年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,883	2,076
電子記録債務	1,214	742
ファクタリング債務	149	98
未払金	237	250
未払法人税等	84	131
未払費用	623	728
賞与引当金	64	75
ポイント引当金	58	38
店舗閉鎖損失引当金	62	43
資産除去債務	40	20
その他	270	290
流動負債合計	5,689	4,496
固定負債		
退職給付引当金	1,601	1,599
転貸損失引当金	98	89
長期預り保証金	182	167
資産除去債務	743	743
繰延税金負債	71	67
その他	148	118
固定負債合計	2,845	2,786
負債合計	8,535	7,282
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617	1,617
資本剰余金	5,299	5,299
利益剰余金	3,597	2,643
自己株式	△153	△113
株主資本合計	10,361	9,447
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	1	△0
評価・換算差額等合計	1	△0
新株予約権	52	19
純資産合計	10,414	9,466
負債純資産合計	18,950	16,749

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年3月1日 至2018年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)
売上高	13,707	13,364
売上原価	6,479	7,042
売上総利益	7,228	6,321
販売費及び一般管理費	7,430	6,856
営業損失(△)	△202	△535
営業外収益		
受取利息	3	2
受取家賃	158	152
その他	48	29
営業外収益合計	209	184
営業外費用		
支払利息	0	0
不動産賃貸費用	137	135
その他	13	14
営業外費用合計	151	150
経常損失(△)	△143	△501
特別損失		
固定資産除却損	4	7
減損損失	138	194
店舗閉鎖損失引当金繰入額	60	14
特別損失合計	203	215
税引前四半期純損失(△)	△347	△716
法人税、住民税及び事業税	84	80
法人税等調整額	354	△3
法人税等合計	438	76
四半期純損失(△)	△785	△792

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年3月1日 至2018年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△347	△716
減価償却費	205	154
減損損失	138	194
退職給付引当金の増減額(△は減少)	32	△1
賞与引当金の増減額(△は減少)	△8	10
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△7	△19
受取利息及び受取配当金	△3	△2
転貸損失引当金の増減額(△は減少)	△9	△8
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	54	△18
リース資産減損勘定の増減額(△は減少)	△0	△0
支払利息	0	0
賃借料との相殺による保証金返還額	63	48
売上債権の増減額(△は増加)	△107	△464
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,089	1,442
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,122	△1,266
固定資産除却損	4	7
未払消費税等の増減額(△は減少)	△12	33
その他	△83	154
小計	△113	△453
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△71	△84
法人税等の還付額	—	16
営業活動によるキャッシュ・フロー	△185	△522
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△146	△145
無形固定資産の取得による支出	△27	△1
敷金及び保証金の差入による支出	△70	△6
敷金及び保証金の回収による収入	121	168
その他	△14	△37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△137	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△306	△153
リース債務の返済による支出	△34	△34
割賦債務の返済による支出	△2	△2
ストックオプションの行使による収入	—	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△343	△190
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△667	△734
現金及び現金同等物の期首残高	5,457	6,203
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,790	5,468

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(未適用の会計基準等)

- ・「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 平成30年3月30日)
- ・「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 平成30年3月30日)

①概要

収益認識に関する包括的な会計基準であります。収益は次の5つのステップを適用し認識されます。

ステップ1：顧客との契約を識別する。

ステップ2：契約における履行義務を識別する。

ステップ3：取引価格を算定する。

ステップ4：契約における履行義務に取引価格を配分する。

ステップ5：履行義務に充足した時に又は充足するにつれて収益を認識する。

②適用予定日

2023年2月期の期首より適用予定であります。

③当該会計基準等の適用による影響

影響額は、当財務諸表の作成時において評価中であります。

(追加情報)

税効果会計に係る会計基準の一部改正(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

当第2四半期累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

当社は衣料品等小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. 「参考資料」

商品別売上高の状況

商品別	期別 前第2四半期累計期間 自 2018年3月1日 至 2018年8月31日	当第2四半期累計期間 自 2019年3月1日 至 2019年8月31日	前年同四半期比	増減
メンズトップス	3,495百万円	3,493百万円	99.9%	△2百万円
メンズボトムス	2,887百万円	2,766百万円	95.8%	△120百万円
レディーストップス	1,553百万円	1,656百万円	106.6%	102百万円
レディースボトムス	1,590百万円	1,581百万円	99.4%	△9百万円
キッズ	1,555百万円	1,430百万円	91.9%	△125百万円
その他	2,624百万円	2,435百万円	92.8%	△189百万円
合計	13,707百万円	13,364百万円	97.5%	△343百万円

(注) 「その他」はビジカジ、インナー・レッグ、雑貨等であります。